

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 寄付金について、令和4年度以降に半額(37,590千円)を計上した場合

◇水道事業経営に係る課題
 ・人口減少や節水機器による水道料金収入の減少
 ・水道施設の老朽化の進行



◇投資・財政計画の当初試算結果

計画期間(令和3年度～令和12年度)内において、令和7年度に収支ギャップ(赤字)が生じる。
 また、令和5年度に当年度末内部留保資金が赤字となる。

	R1年度	R5年度	R7年度	R12年度 (10年後)	R30年度 (約30年後)	R50年度 (約50年後)	備考
当年度純利益 (千円)	110,535	34,323	△41,030	△185,965	△301,535	△449,775	R7年度に赤字発生
当年度末内部留保資金 (千円)	910,953	△420,285	△1,299,599	△3,601,132	△15,405,821	△29,057,656	R5年度に赤字発生



◇投資の合理化及び料金水準の適正化
 ・投資事業の優先順位の見直し
 ・起債充当率の見直し
 ・令和5年度に水道料金を30%の引き上げ



◇投資・財政計画の見直し後の試算結果

計画期間(令和3年度～令和12年度)内において、収支ギャップ及び当年度末内部留保資金の赤字は解消される。

	R1年度	R5年度	R7年度	R12年度 (10年後)	R30年度 (約30年後)	R50年度 (約50年後)	備考
当年度純利益 (千円)	110,535	351,510	269,888	119,070	△1,499	△215,469	R20に赤字発生 (△1,781)
当年度末内部留保資金 (千円)	910,953	244,621	539,350	479,186	△5,794,741	△13,673,571	R14に赤字発生 (△20,062)



・水道事業の持続可能な健全経営
 ・安全・安心な水の供給

(寄付金半額)